

2023年度通期 決算説明資料

2024年5月14日



関西フードマーケット

■2023年度 通期（4-3月）実績

< 連結 >

- 客単価上昇により既存店売上が前年を上回って推移し増収
- 営業利益は両社ともに増益、想定を超えて着地

< 会社別業績 >

- イズミヤ・阪急オアシス 値上げによる客単価上昇は鈍化も客数が回復、既存店売上は前年を上回る
営業利益は前年からの売上伸長、事業改革効果も加わり大幅に増加
- 関西スーパーマーケット 客単価上昇により既存店は前年超え、粗利益率の向上もあり、売上高、
営業利益ともに過去最高

■2024年度 通期見通し

- 人件費や光熱費などのコスト増は継続するものの、連結で増収増益を見込む
- イズミヤ・阪急オアシスは販促・MD強化による増収を計画、コストは増加も過年度の事業改革費用減もあり、大幅な増益を見込む
- 関西スーパーマーケットは光熱費を中心にコストは増加するが、売上伸長による売上総利益の増加を見込む

I . 2023年度 通期実績

II . 2024年度 通期見通し

I - 1. 連結業績



関西フードマーケット

- ▶ 既存店が前年を上回って推移し増収、売上増加による粗利益増加が販管費増加を大きく上回り増益
- ▶ 減損損失など特別損失を計上も当期純利益は増益、予想を全て超過達成

(単位：億円)	上期 (4-9月)		下期 (10-3月)		通期		
	本年	対前年	本年	対前年	本年	対前年	対予想
総額売上高	1,983	103.2%	2,013	102.4%	3,995	102.8%	100.9%
売上高	1,911	103.3%	1,939	102.6%	3,850	102.9%	101.6%
営業利益	47	+29	45	+4	92	+32	+5
経常利益	45	+30	42	+4	87	+34	+6
特別利益	3		-		3		
特別損失	1		42		43		
親会社株主に 帰属する 当期純利益	41	+33	16	▲19	57	+14	+7

I - 2. 会社別業績（イズミヤ・阪急オアシス）



関西フードマーケット

- ▶ 下期から客単価の上昇は落ち着くも客数の回復が進み、既存店売上高は前年超え
- ▶ 売上堅調・販管費抑制により営業利益は想定通りに進捗し、大幅に増益

(単位：億円)	上期（4-9月）		下期（10-3月）		通期		
	本年	対前年	本年	対前年	本年	対前年	対予想
売上高	1,229	102.5%	1,260	102.7%	2,489	102.6%	100.9%
売上総利益	331	+11	340	+7	671	+18	
総利益率	26.94%	+0.19pt	26.95%	▲0.12pt	26.95%	+0.03pt	
その他収入	92	+9	89	+7	181	+16	+8
販管費	395	▲0	401	+11	795	+11	
営業利益	28	+20	28	+4	56	+23	+6

既存店前期比	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	103.5%	104.5%	104.0%	104.1%	104.0%
客数	99.8%	102.2%	103.8%	103.2%	102.2%
客単価	103.7%	102.2%	100.2%	100.9%	101.7%

I - 2. 会社別業績（関西スーパーマーケット）



関西フードマーケット

- ▶ 客単価上昇により既存店が前年超え、総利益率も向上し売上総利益が増加
- ▶ 売上高、営業利益ともに予想を上回り過去最高

(単位：億円)	上期（4-9月）		下期（10-3月）		通期		
	本年	対前年	本年	対前年	本年	対前年	対予想
売上高	651	103.6%	653	101.0%	1,305	102.3%	100.3%
売上総利益	172	+9	174	+4	346	+12	
総利益率	26.41%	+0.41pt	26.65%	+0.33pt	26.53%	+0.37pt	
その他収入	10	▲0	10	+0	20	+0	+0
販管費	162	▲1	166	+3	328	+3	
営業利益	20	+9	18	+1	39	+10	+1

既存店前期比	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	103.7%	105.4%	104.0%	99.9%	103.3%
客数	99.0%	101.1%	101.0%	96.3%	99.4%
客単価	104.7%	104.3%	103.0%	103.7%	103.9%

Ⅱ. 2024年度 通期見通し



関西フードマーケット

▶ 人件費や光熱費などのコスト増は継続するものの、連結で増収増益を見込む

	上期		下期		通期	
	予想	対前年	予想	対前年	予想	対前年
(単位：億円)						
総額売上高	2,037	102.7%	2,083	103.5%	4,120	103.1%
売上高	1,963	102.7%	2,007	103.5%	3,970	103.1%
営業利益	50	+3	55	+10	105	+13 <small>(グループ経営指導料影響額▲7億円)</small>
経常利益	46	+1	54	+12	100	+13
特別利益	15		—		15	
特別損失	1		10		10	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	37	▲4	29	+13	65	+8

Ⅱ. 2024年度 通期見通し



関西フードマーケット

- ▶ イズミヤ・阪急オアシスは販促・MD強化による売上伸長、コストは増加も過年度の事業改革費用減もあり、大幅な増益を見込む
- ▶ 関西スーパーマーケットは光熱費を中心にコストは増加するが、売上伸長による売上総利益の増加を見込む

		上期		下期		通期	
		予想	対前年	予想	対前年	予想	対前年
(単位：億円)							
イズミヤ・ 阪急オアシス	総額売上高	1,369	103.6%	1,403	104.0%	2,772	103.8%
	営業利益	35	+7	36	+8	71	+15
関西スーパー マーケット	総額売上高	668	101.0%	681	102.6%	1,349	101.8%
	営業利益	16	▲4	20	+2	36	▲2

※

- ・個別業績は収益認識基準適用前、総額売上高はその他営業収入含む
- ・関西スーパーは関西スーパーマーケットとKSPの連結数値



関西フードマーケット

本資料に記載された情報については、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いませんので、ご承知おき下さい。

また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で、複製・転載等することを禁じます。